第20号　本小の教育「授業研修会」　4年互見

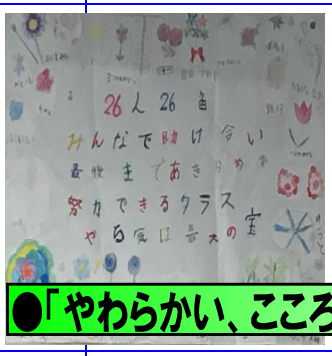
◎ 授業スタンダード期　『授業の型づくり』

今週から来週にかけて、４学年の「リレー方式・互見授業」のスタートである。３・４年の中学年は、学習面でも、成長過程でも、難しく大変な時期ではある。が、また、やり甲斐のある楽しい時期でもある。子共達の「学びと育ち」をしっかりと確認したい。

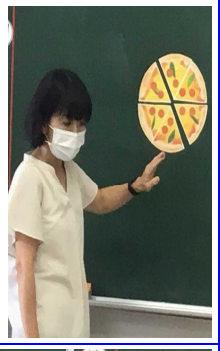
●４の１「角の大きさの表し方」（４／１０）時間＜比嘉　真紀子＞⇒『やわらかい、ココロ』
●４の３「角の大きさの表し方」（５／１０）時間＜伊豆味日向子＞⇒『やわらかい、雰囲気』
●４の２「角の大きさの表し方」（７／１０）時間＜吉田　将　寿＞⇒『やわらかい、コトバ』

■ ４年１組（算数）「 比嘉 真紀子 」先生　２校時　互見授業

【児童の手（学習規律）】



●「やわらかい、こころ」を感じる「４の１」



●子ども達、全員が授業に参加し、課題に取り組んでいる（思考している）。
●Print 配布の際、どの子も後ろを振り向いて丁寧に手渡していた（雑な子無し）
●学習の進め方を理解している。学びの進め方（◆自力⇒ペア⇒全体⇒個々へ）
●学級経営の良さが窺える。安心感・所属感、連帯感、思いやり心、漂う学級
●学習規律、支持的風土が、本当に良い。
●ロッカーの整理整頓もきちんと出来て

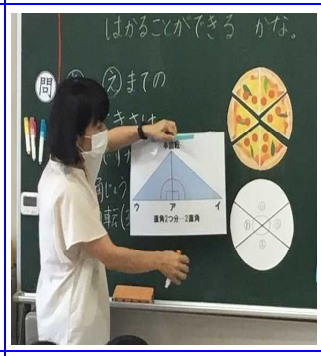
【教室の色（支持的風土）】

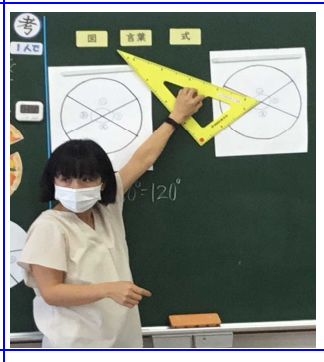
●教室の環境が、整っている。掲示物や既習教材の掲示、具体物、ICT教材等。
●Printの工夫。例えば、＜自分の考え＞＜隣の考え＞等の記入欄を準備してる
●具体物（ピザの絵）、三角定規、分度器。
●ＩＣＴ機器（iPad）の活用ヶ所が良い。

■「角の学習でよくある４つのミス！！」

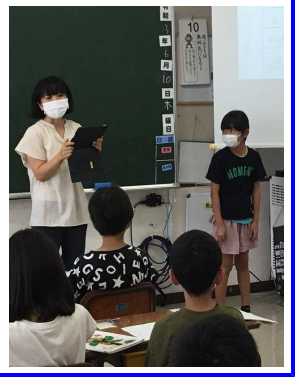
●直線の長さで角が大きいと勘違いする。
●分度器が最初っから合わせられない子。
●60度なのに120度と読んでしまう子。
●180度は角が消えてしまうと思う子共。

【教師の眼（教師の姿勢）】





●「教師力」を感じる。授業にかける情熱や使命感、指導力の向上心が素晴らしい
●真紀子方式は、机間指導①に入る前、自力解決の見通しを持てない子を前へ集め再度スモールステップを行う。Good！
●子共のノートを iPad で写真に撮り、投影して提示。簡単であるし見えやすい。
●教師の言葉かけが、子共の自己肯定感を高めるし、やる気に繋がっている。
●振り返りも「視点」を示し、書かせてた。



【感想】　**「互見授業・リレー方式」（４の１：真紀子 先生）**　…。　本当に　有難う　ございました。♥

※「リレー方式・互見授業・４学年・算数」を参観させていただきました。全体的な感想を述べます。
○「先ずは、真紀子先生の学級は、＜やわらかい、ココロ＞を感じるクラスです。担任から派生効果。」
○「子共達は、全員が授業に参加し課題に取り組んでいる。経験、既習事項、思考力、を振り絞って。」
○「過去をチェック！本時の前に。アナログ時計を読む、体重計の読み、目盛を読む、など苦手は？。」
○「長さの学習で、測ることや描くことがずれた、長方形や二等辺三角形がずれて苦労した。は、無いか。」
○「長さは「点と点」の離れ具合、角は「直線と直線」の開き具合、きちんと揃えられなくても良しとし。」
○「いいんだよ」は、算数・数学では譲れない部分である。算数・数学の良さ、美しさ、便利さの為にも。。」

校長より